

山城北保健所管内の感染症発生動向調査

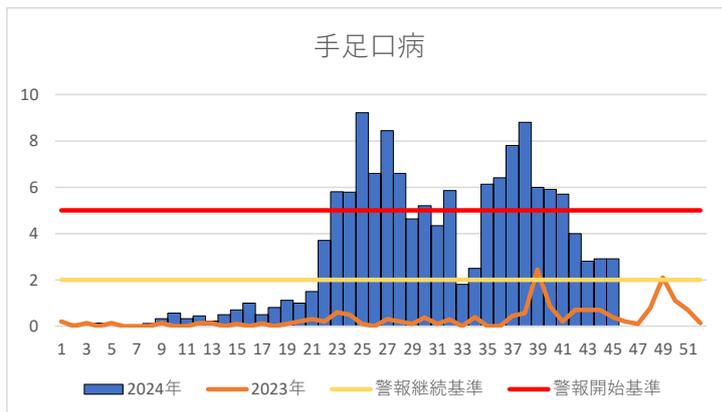
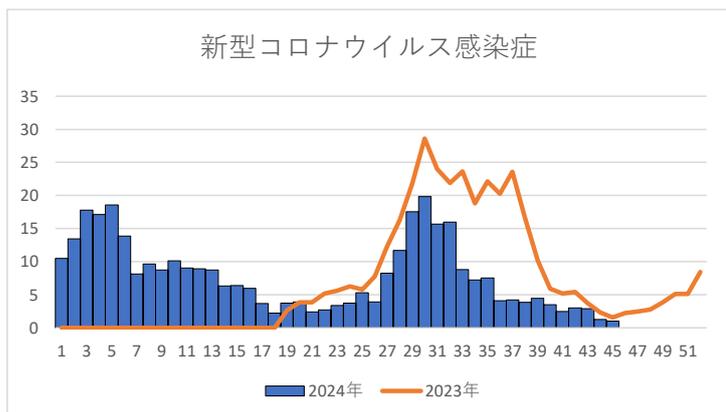
(新型コロナウイルス感染症/インフルエンザ定点、小児科定点、眼科定点、全数報告)

2024年 第45週 (11月4日～11月10日)

今週のコメント

- 「新型コロナウイルス感染症」の定点あたりの報告数は1.00 (44週1.24、43週2.28) とやや減少しています。
- 「百日咳」が報告されています。感染拡大と乳児の重症化予防のため、百日咳ワクチンの定期接種を確実に受けましょう。
- 「麻しん(はしか)」が報告されています。麻しんは感染力が非常に強いので、感染を予防するために、麻しんワクチンの定期接種を確実に受けましょう。
- インフルエンザの全国的な流行入りが発表されました。引き続き手洗いや手指消毒、咳エチケット等の感染症予防を行い、保育施設や学校での集団感染に気を付けましょう。

今週の注目グラフ



今週の報告状況

疾患名	定点あたりの報告数 (前週比)	疾患名	定点あたりの報告数 (前週比)
インフルエンザ	1.00 (0.85)	手足口病	2.90 (1.00)
新型コロナウイルス感染症	1.00 (0.81)	伝染性紅斑	0.30 (0.30)
RSウイルス感染症	0.40 (1.00)	突発性発しん	0.10 (0.25)
咽頭結膜熱	1.90 (1.12)	ヘルパンギーナ	0.10 (0.00)
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.60 (0.64)	流行性耳下腺炎	— (0.00)
感染性胃腸炎	1.50 (1.07)	急性出血性結膜炎	— (0.00)
水痘	0.20 (1.00)	流行性角結膜炎	0.50 (0.00)

定点あたりの報告数 = 1週間の報告件数 / 定点数

警報: 1週間の定点あたり報告数が、ある基準値(警報の開始基準値)以上の場合に発生します。

前の週に警報が発生していた場合、1週間の定点あたり報告数が別の基準値(警報の継続基準値)以上の場合に発生します。

注意報: 警報が発生していないときに、1週間の定点あたり報告数が、ある基準値(注意報の基準値)以上の場合に発生します。

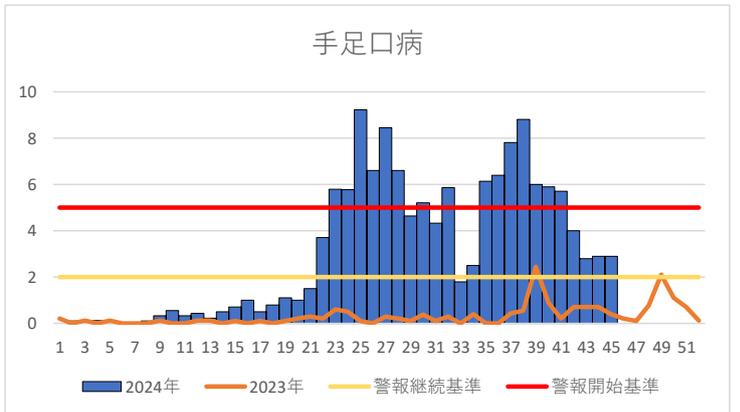
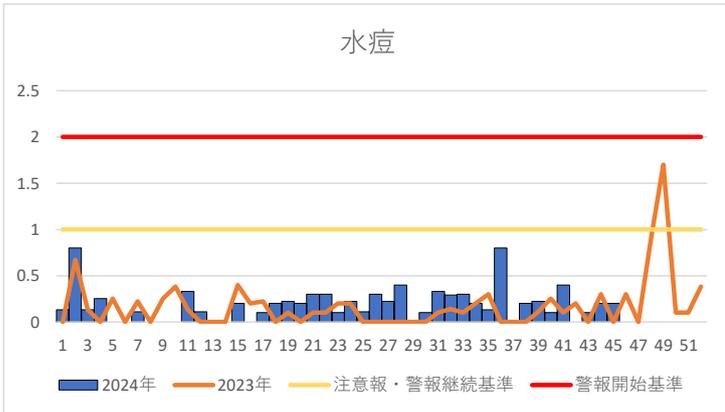
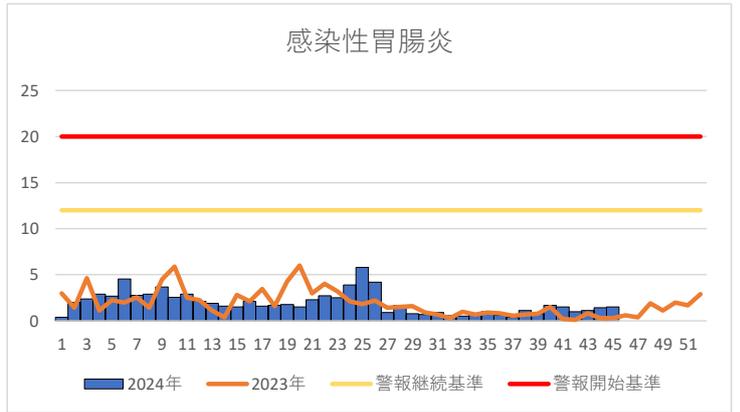
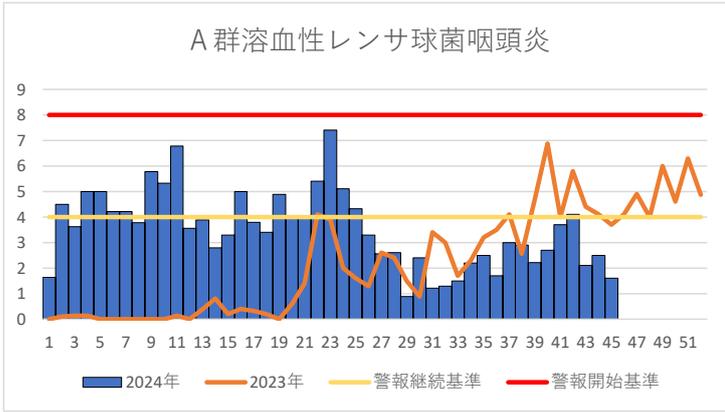
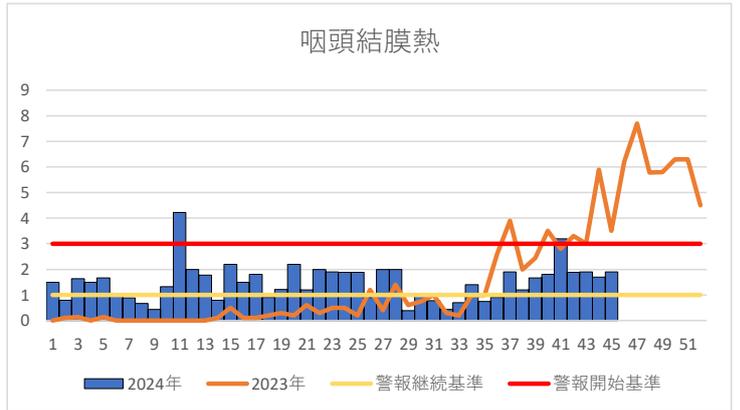
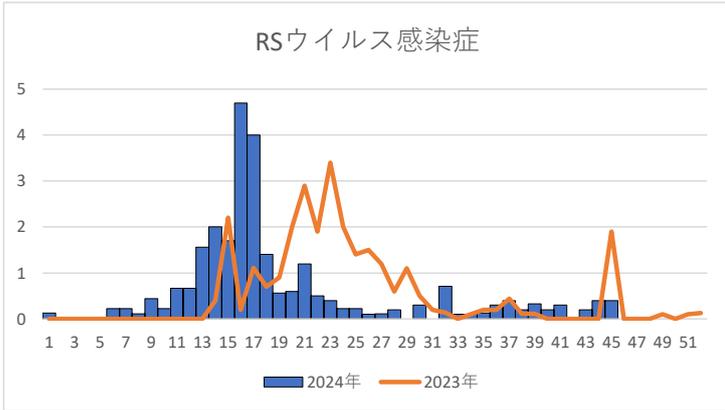
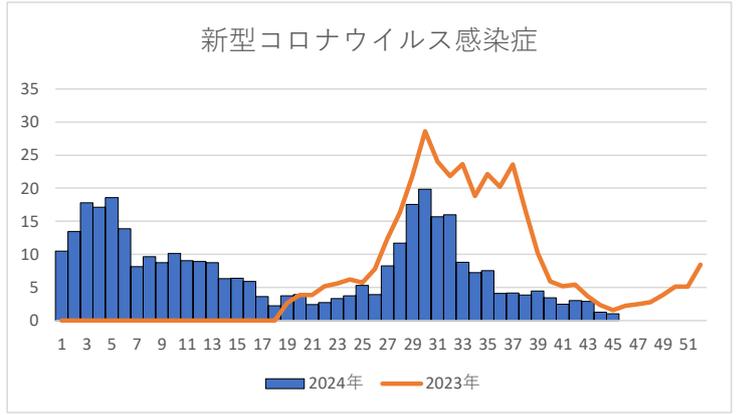
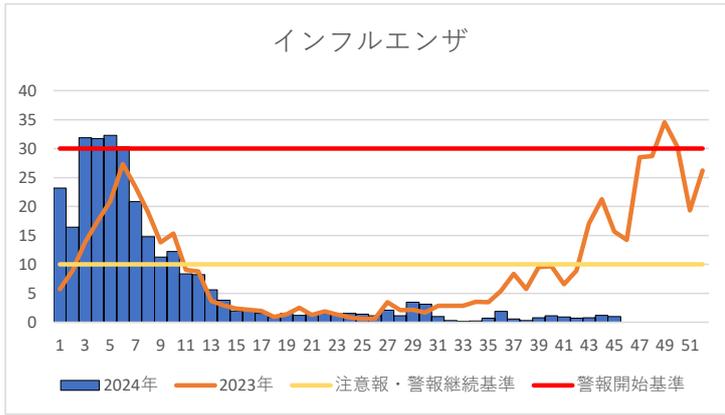
全数把握疾患

分類	報告
1類感染症	報告なし
2類感染症	結核(2件)
3類感染症	報告なし
4類感染症	報告なし
5類感染症	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症(1件)、百日咳(1件)

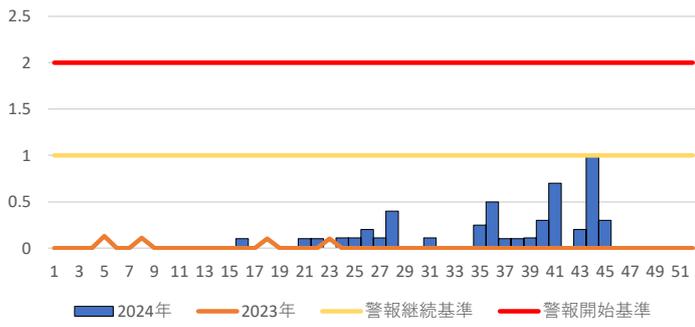
※このデータは速報値であり、今後変更等が行われる可能性があります。ご了承ください。

参考: 京都府感染症情報センター <https://www.pref.kyoto.jp/idsc/>

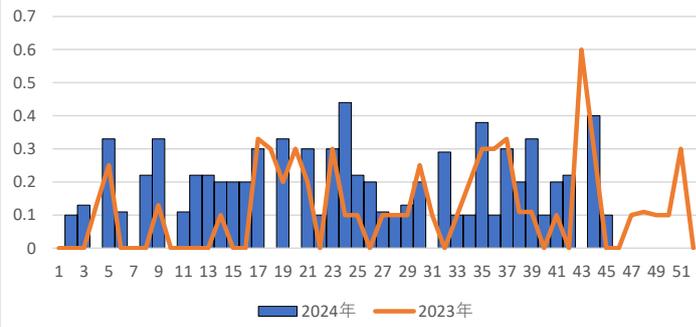
山城北保健所管内定点当たり報告数推移



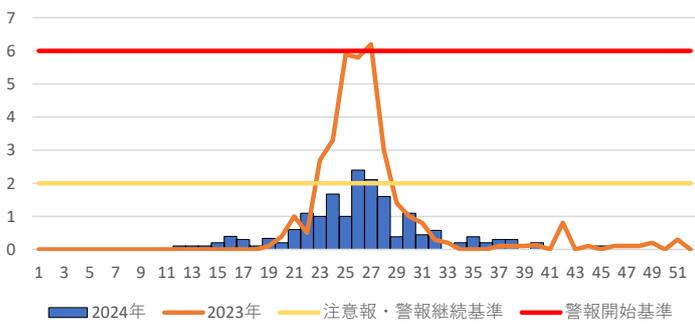
伝染性紅斑



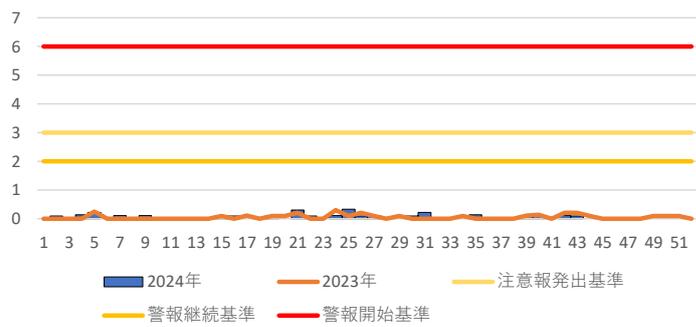
突発性発疹



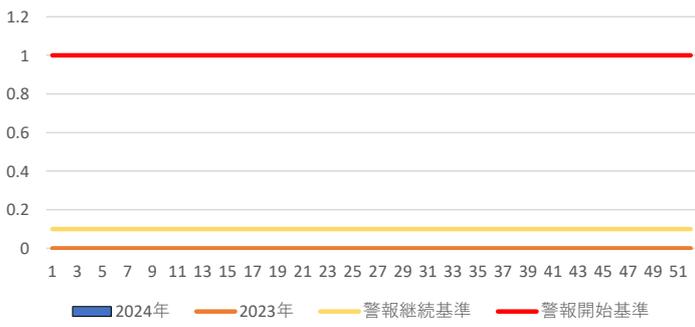
ヘルパンギーナ



流行性耳下腺炎



急性出血性結膜炎



流行性角結膜炎

